令和６年度 生産性向上支援訓練の活用事例

《 横断的課題 － 組織マネジメント分野 》

【成果を上げる業務改善】

オリンピア工業株式会社宮崎工場　【会社概要】 一般機械器具製造業

訓練受講のきっかけ（経緯）

ポリテクセンター宮崎の生産性向上支援訓練の利用は3年ぶりとなります。今回は製造部門の中堅層向けに、「日々の作業のムダをなくして効率よくできることを学んでもらいたい」と考え、製造業務が落ち着く夏季の実施を早くから相談し、今回の訓練実施に至りました。

【訓練ニーズ】
○製造部員は同じ工程業務を担当するが属人的な作業が多く、各自の改善点がわからない
○他工程担当者同士が集まり交流する機会は少なく、グループワークの意見交換で他者の意見や考え方を知ってもらいたい
○社外講師の研修受講で工夫や発想の転換など気づきを得て業務改善を図りたい

訓練の実施状況

訓練の概要

○令和6年8月　6時間×1日 (計6時間)の コースを実施。
　製造部門各工程の中堅層　10名が受講。

○主な内容
業務改善と業務の可視化
（1）なぜ生産性向上が必要か
（2）業務の可視化と業務改善
（3）主体性の発揮
業務改善手法
（1）「ムダ」とは何か
（2）効果が高く継続できる改善活動サイクル
（3）問題構造図による真の原因の抽出
（4）効果の高い改善を継続するポイント

受講者の皆様

・任意で訓練参加までに事前課題を考えてもらう。
・講師の話とワーク、ディスカッションを織り交ぜて進行させる。

受講した感想

【受講者の声】
・担当業務は製作までの準備に時間がかかる為改善の余地がある。
・他部署の人と意見を交わすことがなかったので色々勉強になった。
・初めて知った内容などがあり成長できそうだから。
・なぜなぜ分析がとても役に立った。
・今回の講習を今後の業務に活かしていきたい。
・他部署との意見の出し合いが良い経験になった。

【事業主の声】
・今回の訓練受講で、従業員の協調性や思考力を養うことができ、学習した内容を実際に現場で活かすことができています。